

憲法9条を破壊する三つの大問題 戦地派兵 治安維持活動 集団的自衛権 安倍首相が言う『平和安全法制』こそ偽装表示 戦争法案を廃案に

戦後日本の国のあり方を根本から転換する「戦争法案」が、26日の衆議院本会議で審議入りし、各党の代表質問がおこなわれました。

法案では、「戦闘地域」まで行き軍事支援をおこない、「停戦合意」があっても戦乱がつづいている地域にも自衛隊を派兵し、治安維持活動に参加させ、日本が攻撃されなくても集団的自衛権を行使し、アメリカの戦争に参戦することになり、海外で「戦争するための法案」そのものです。

安倍首相は、「戦争法案」という批判に、「レテル貼りだ」と言っていますが、「平和安全法制」こそ偽装表示です。

「戦争する国づくり」をくい止めるために、共同の世論と運動を広げましょう。



国の悪政にきっぱりものを言い福祉・子育て・暮らしを応援する県政に 憲法をくらしに生かす県政の会からはぎわら貞夫氏が知事選挙に



7月5日に投開票でおこなわれる知事選挙に「憲法をくらしに生かす県政の会」から、はぎわら貞夫氏が立候補を表明しました。

はぎわら氏は、建設費だけでも380億円になる高崎競馬場跡地へのコンベンション施設建設を中止し、福祉・子育て・暮らし応援の県政に転換をと訴えています。



精神障がい者が作業を通じて自立をめざす施設 白沢町に就労支援施設「工房あおぞら」が完成

精神障がい者の自立支援に取り組んでいる沼田市NPO法人「あおぞら会」が運営する、就労支援施設「工房あおぞら」が完成し、落成祝賀会が開かれました。

完成した事業所は、木造2階建て、延べ床面積約190平方メートルで、定員は20人です。

利用者は、畑で作物を作ったり、製品の袋詰め作業やアクセサリーの販売などをおこないます。



続ぶらい散歩 めまた道 利南地区あれこれ 特別編その三十

金比羅坂

久屋原町の東電の貯水池の脇から利南東幼稚園の西隣りへとつづく九十九折りの坂道は、利南東小と東中の通学路として使われている「金比羅坂」です。



坂の途中に金比羅様を祀った小高い岩山があることからこの名でよばれるようになったようですが、「沼田の坂」(金井竹徳著)には、「以前この坂は、「さぬき坂」とよばれ、近くに林讃岐守の屋敷があったともいう」と記述されています。

禁芸碑

上久屋町の孝養寺の参道入り口に旅芸人や行商人が寺に入ることを禁じるために建てられた碑があります。

禁芸碑は、利根沼田地域のみに残っているといわれています。

孝養寺の禁芸碑には、天明6年(1786)の年号が彫られており、高さは247.5cmです。



“ 社会保障のため ” と言いながら、消費税を増税した途端に社会保障費を削減するやり方は、国民へのだまし討ちであり、暴走政治そのものです。

乗せて患者に定額負担を求めるのもきわめて乱暴です。

改悪案には、入院給食費の患者負担(1食200円増、月1万8000円増)は、受診抑制を広げる危険があり、紹介状がなく大病院を受診した際に5000円から1万円を上乗せして患者に定額負担を求めるのもきわめて乱暴です。

国保の財政運営が市町村から都道府県に移すことにより、市町村が独自で決めていた国保税を「平準化」させることなどを通じ、国保税の引き上げや徴収の強化をもたらす心配があり、都道府県は「医療費抑制」の計画を作成することになります。

こんにちは 大東のぶゆき です